

報道関係各位

2023年6月8日
株式会社クロス・マーケティング

生成AI 仕事への影響66%、不安40%、使いたい54% 現在の使い方は「検索エンジン代わり」「趣味や楽しみ」

－生成AIに関する調査（2023年）利用実態・意識編－

株式会社クロス・マーケティング（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：五十嵐 幹）は、2023年5月、全国20～69歳の男女有職者7,532名を対象に「生成AIに関する調査（2023年）」を行いました。今回は、生成AI認知者で、フルタイムで働いているホワイトカラー層1,345人に対し、利用実態や意識を確認、勤務先での生成AIの導入状況や使い方、生成AIのイメージ、仕事への影響度・不安度、利用意向などをピックアップし分析をしました。

■ 調査結果（一部抜粋）

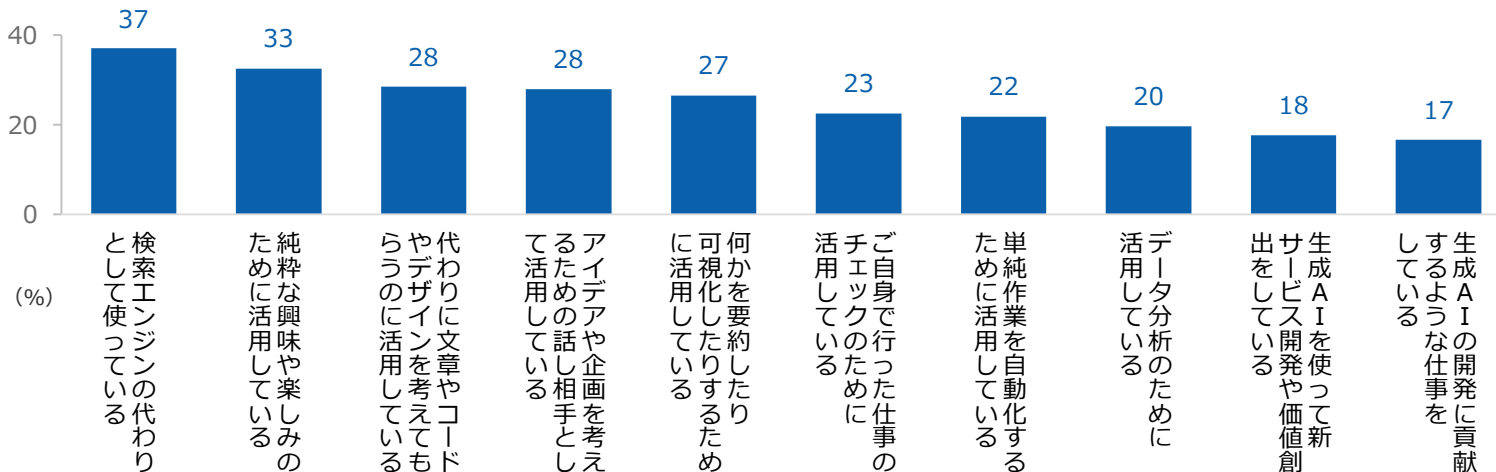
- ✓ **【導入状況と使い方】** ホワイトカラーで生成AIの認知者に、勤務先の生成AI導入状況を確認した。「会社での導入なし、個人的にも使用していない」が42%と最も多く、部署間だけの利用も含め「勤務先で導入している」は29%、「個人的にのみ使用」が28%であった。<図1> 生成AIの使い方は、「検索エンジンの代わり」「純粋な趣味や楽しみ」「文章・コード・デザインを考えてもらう」「アイデアや企画を考えるための話し相手」「要約したり可視化するため」がTOP5。ビジネスシーンで有効活用している人もいるが、お試し程度の利用者も少なくはないと見受けられる。<図2>
- ✓ **【イメージ・仕事への影響と不安度】** 生成AIのイメージは、「事実と偽情報が入り混じっている」「まだ精度が低いもの」「将来は日常の一部になる」「人間の思考を補完」「省人化につながる」などが上位であるものの、これといった強いイメージはまだ持たれていない。<図3> 生成AIにより自分の仕事への影響度合いを7段階で聴取した。「やや影響がある」が31%と最も多く、「とても影響がある～やや影響がある」割合は66%であった。<図4> 将来への不安度は「不安を感じる」が40%、「不安を感じない」は30%と、不安を感じる人の方が10pt多い。<図5>
- ✓ **【利用意向】** 自身の仕事の中で生成AIを利用したいかを7段階で聴いたところ、「使いたい」は54%と半数を超えた。<図6> 非利用意向者（どちらともいえない～まったく使いたくない）に対し、どのようになれば生成AIを「使ってもよいと思える」かを確認した。「使い方をきちんと監視・監査できる仕組みが整ったら」「事実と偽情報を峻別できるようになったら」「データプライバシー・情報漏洩に関する規制ができたら」が22%と上位であり、生成AIを使う際の安全性の担保を望む声があがった。<図7>

◆ 詳細情報は本レポートに掲載しております。 <https://www.cross-m.co.jp/report/it/20230608AI/>

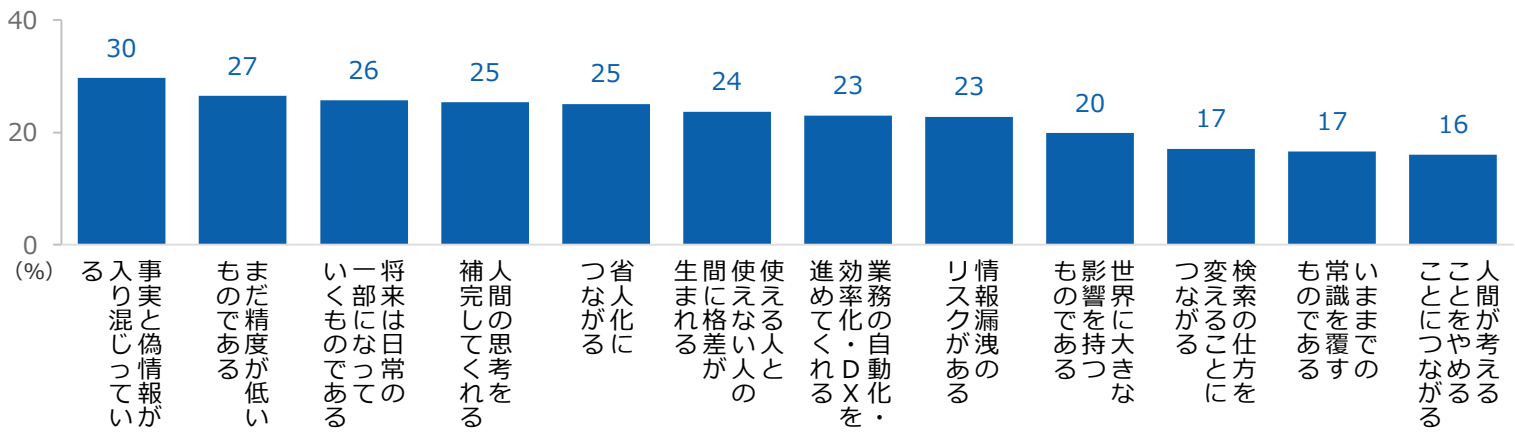
<図1> 勤務先における生成AIの導入状況（単一回答：n=1,345）※ベース：ホワイトカラー・生成AI認知者



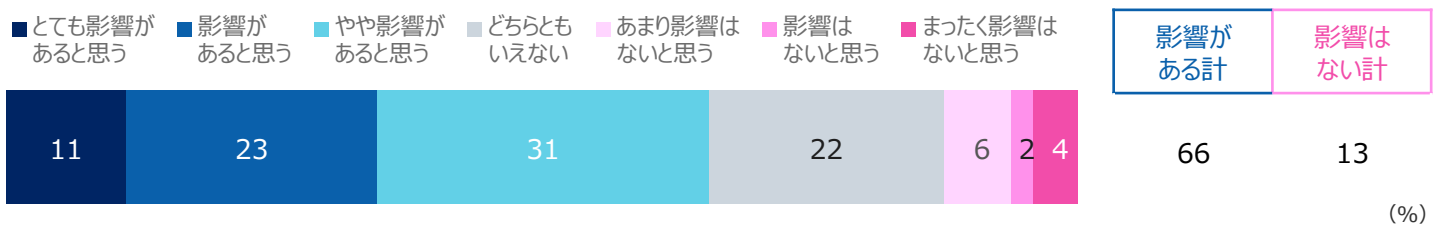
<図2> 生成AIの使い方（複数回答：n=578）※ベース：いずれかの生成AIサービスを現在利用している人／上位10項目を抜粋



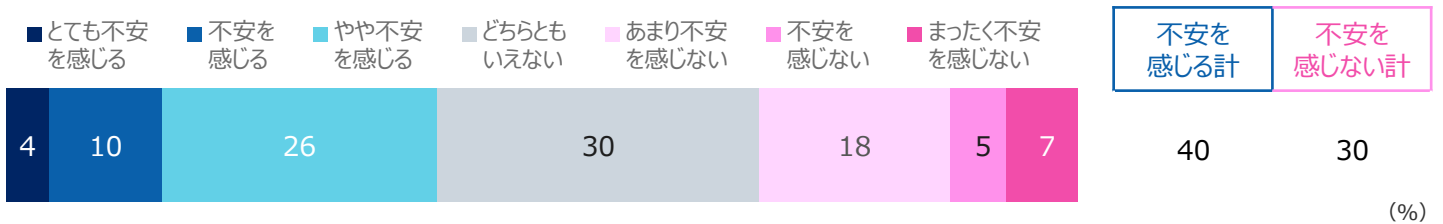
<図3> 生成AIのイメージ (複数回答: n=1,345) ※ベース: ホワイトカラー・生成AI認知者/15%以上の項目を抜粋



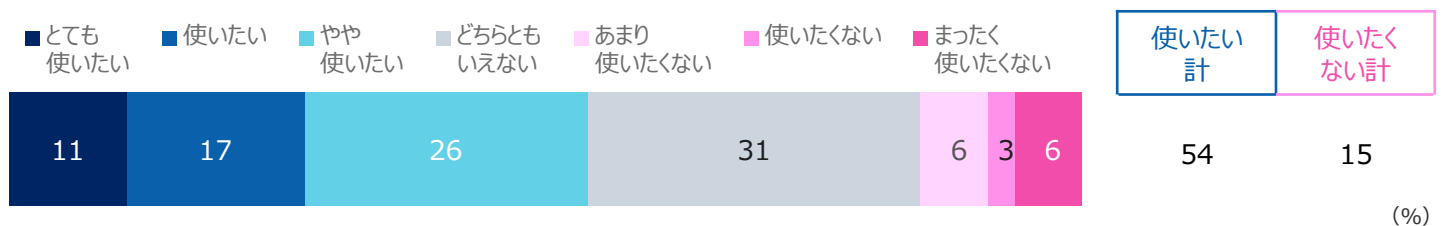
<図4> 生成AIによって自分の仕事への影響 (単一回答: n=1,345) ※ベース: ホワイトカラー・生成AI認知者



<図5> 生成AIによって感じている将来への不安 (単一回答: n=1,345) ※ベース: ホワイトカラー・生成AI認知者

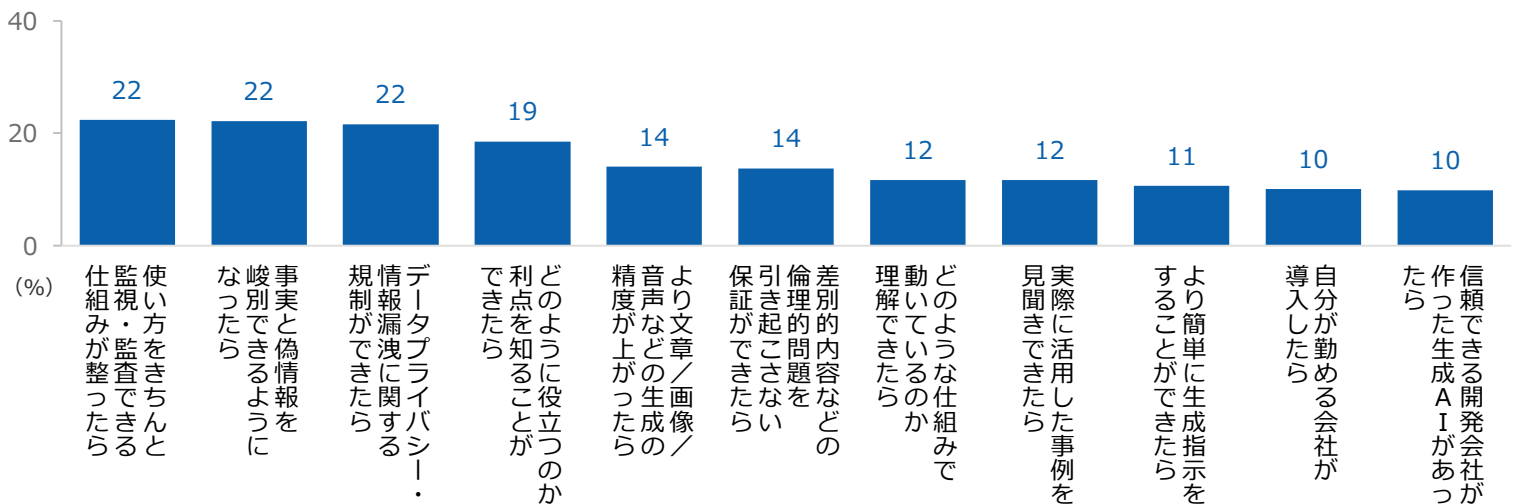


<図6> 仕事における生成AIの利用意向 (単一回答: n=1,345) ※ベース: ホワイトカラー・生成AI認知者



<図7> どのようになれば生成AIを使いたいと思うか (複数回答: n=620)

※ベース: 仕事における生成AIサービスの利用意向「どちらともいえない～まったく使いたくない」人/上位11項目を抜粋



■レポート項目一覧

- 属性設問
(性年代/未既婚/子ども有無/職業/職種/仕事で最も時間を使う作業/テレワーク頻度/業種/勤務企業規模/個人年収/IT関連スキル)
- 調査結果サマリー

▼調査結果 利用実態

- 生成AI各サービスの認知・利用構成
- 勤務先会社における生成AIの導入状況
- 自分の業務における生成AIの利用状況/利用場所
- 生成AIの使い方

▼調査結果 意識

- 仕事における生成AIの利用意向
- どのようになれば生成AIを使いたいと思うか
- 生成AIに対するイメージ
- 生成AIによって自分の仕事に影響が出ると思うか
- 生成AIによって感じている将来への不安
- 生成AIに任せたい仕事
- 生成AIに各仕事を任せられた場合の信用度
- 生成AIに各仕事を任せたい理由
- 生成AIを導入するにあたって必要と考えるルール
- 生成AIの登場によって行動しなくなったこと
- 生成AIの登場による子どもの将来への影響/
子どもにしてあげたいこと・子ども自身にしてほしいこと (自由回答抜粋)
- 生成AIの登場によって実現する/してほしい未来 (自由回答抜粋)

◆レポートのダウンロードはこちらから

<https://www.cross-m.co.jp/report/it/20230608AI/>

■調査概要

調査手法 : インターネットリサーチ

調査期間 : 2023年5月12日(金)～5月15日(月)

調査地域 : 全国47都道府県

有効回答数 : スクリーニング調査 7,532サンプル

調査対象 : 20～69歳の男女

本調査 1,345サンプル

スクリーニング調査 フルタイム有職者

※調査結果は、端数処理のため構成比が100%にならない場合があります

本調査 ホワイトカラー・生成AI認知者

【会社概要】

会社名 : 株式会社クロス・マーケティング <https://www.cross-m.co.jp/>

所在地 : 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー24F

設立 : 2003年4月1日

代表者 : 代表取締役社長兼CEO 五十嵐 幹

事業内容 : マーケティングリサーチ事業、マーケティング・リサーチに関わるコンサルティング

◆本件に関する報道関係からのお問い合わせ先◆

広報担当 : マーケティング部 TEL : 03-6859-1192 FAX : 03-6859-2275

E-mail : pr-cm@cross-m.co.jp

«引用・転載時のクレジット表記のお願い»

本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。

<例>「マーケティング・リサーチ会社のクロス・マーケティングが実施した調査によると・・・」